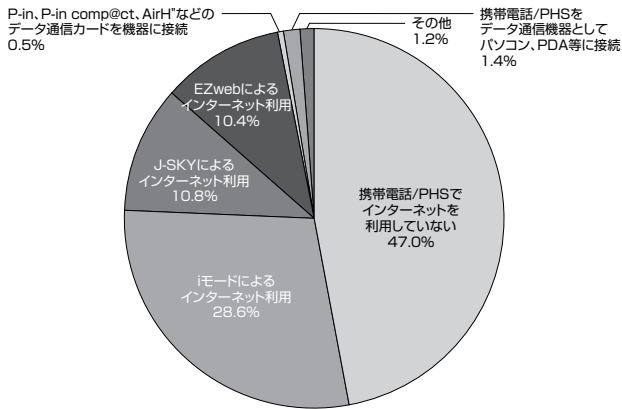


第3章 携帯電話/PHS利用者

利用状況

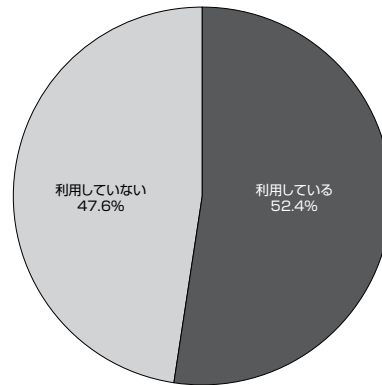
所有者の半数がインターネット利用

資料 1-3-1 携帯電話/PHSでの主なインターネット利用状況 N=1,512



© Access Media/impress,2002

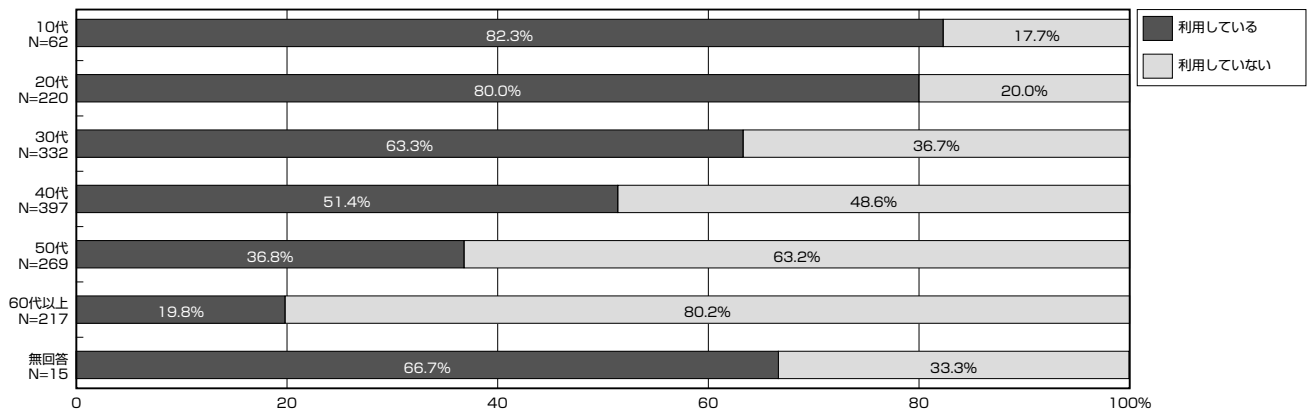
資料 1-3-2 携帯電話/PHS本体でのインターネットの利用有無 N=1,512



© Access Media/impress,2002

(注) 資料 1-3-1 の主な利用状況で携帯電話/PHSをデータ通信機器として利用している、またはデータ通信カードを利用していると答えた人(合計 1.9%)の中でも、携帯電話/PHS本体でインターネットを利用することがあれば、資料 1-3-2 では「利用している」に含まれる。

資料 1-3-3 年代別 携帯電話/PHS本体でのインターネット利用有無



© Access Media/impress,2002

解説

今年の携帯電話/PHS普及率調査(電話調査: 詳細38~45ページ)では、携帯電話/PHSの普及とともにインターネット利用者の増加や利用状況を把握することを目的としたが、さらに携帯電話/PHS所有者がインターネットにどのように携帯電話/PHSを使っているのかを把握するため、普及率調査の結果から抽出した利用者を対象に、郵送によるインターネット利用実態調査を実施した。昨年までは「インターネット接続機器として携帯電話/PHSを利用している人」を抽出していたが、今年はインターネットの利用

有無にかかわらず、「携帯電話/PHS所有者」を対象にした。

第1章で述べたように、今年のインターネット利用の傾向は、限られた環境(場所・機器)での利用から、さまざまな場所や機器での利用に変化していることである。携帯電話/PHSからの利用者も、パソコン、その他の機器からもインターネットを利用している人が増えている。

■利用状況

携帯電話/PHS所有者の電子メール、情報サービス等のインターネット利用は、「iモード」による利用が28.6%と最も多く、

「J-SKYによる利用」(10.8%)、「EZwebによる利用」(10.4%)と続く。パソコンやPDAなどでインターネットに接続するために携帯電話/PHSを使う、またはデータ通信カードを利用している人の比率は1.9%と全体数の増加とともに減ってきており、携帯電話/PHSによるインターネット利用の大多数は本体でのインターネットサービス利用である(資料1-3-1)。

この携帯電話/PHS本体からのインターネット利用有無を聞いたのが資料1-3-2である。携帯電話/PHS本体からのインターネット利用者(52.4%)と非利用者



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp